



ニュースレター限定 社長コラム

## 『属人化を防ぐ、引き継ぎの技術』

代表取締役 近藤 千奈美

「あの人がいないと回らない」。お盆休みが近づくと、こんな声をあちこちで耳にします。

ヨーロッパには、夏に数週間のバカンスを取り、その間は仕事から完全に離れる文化があります。誰か一人が長期間職場を離れても、業務が止まらない。それが当たり前だからこそ実現できることです。私はこれを、能力の差ではなく仕組みの差だと思っています。属人化は、優秀さの証ではありません。むしろ弱点です。

引き継ぎ資料づくりは面倒に見えます。でも実際は、自分の仕事を言葉にする数少ない機会です。まずは、判断に迷った場面を「何を、なぜ、どう判断したか」の一問一答でメモに残す。次に、繰り返し発生する作業は、文章より写真や動画で手順を残すほうが早く伝わります。書き出すだけで、自分でも気づいていなかった無駄や思い込みが見えてきます。

一人の不在が重く響くのは、小さな会社ほど顕著です。だとすれば、仕組み化への投資対効果も、小さな会社ほど大きいはず。人に頼る経営から、仕組みに頼る経営へ。その一歩は、意外と地味な作業から始まります。

御社では、属人化をどのように仕組み化していますか。



技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

**株式会社コンテックス**



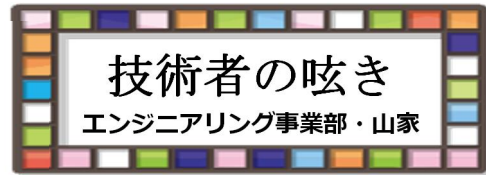
Phone : 042-744-1080  
e-mail : [tsd@kontecs.com](mailto:tsd@kontecs.com)  
URL : <https://www.kontecs.com>

# KONTECHS TIMES 第150号

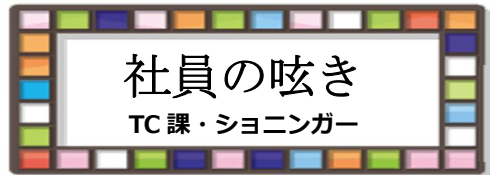
## COMPANY NEWSLETTER 株式会社コンテックス



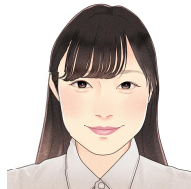
『今年も出ています』



昨年までは試合＝小波がほとんどでしたが、今年は少し違いました。複数日間の試合では、1日目は小波、2日目は強い南風による頭オーバーのスーパージャンクコンディション。若手選手でも沖に出る前に100m流されるほどで、私にはハードすぎました。ヒート中はパドルとビーチを走って入り直すことの繰り返しで敗戦。それでも日本のトップで戦う若者たちは簡単に沖へ出て、10点満点のライディングを決める姿に、あんな若い体が欲しいと思った試合でした。



『夏だ〜!!』



先日、「バラ祭り」に参加しました。色とりどりのバラが咲き誇る中、屋台も並び、お祭り気分を満喫！別日には七夕祭りにも参加し、夏はお祭りや花火などイベントが盛りだくさんだと改めて感じました。夏生まれの私にとって、この季節は毎週どこへ行こうかとワクワクします。子どもたちにも「夏はたくさん遊んだ！」と思えるような思い出をたくさん作ってあげたいです。おすすめのお祭りがあれば、ぜひ教えてください♪



ニュースレター限定 営業マンのコラム

『AI と音声対話』

グローバルビジネス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



先日、ChatGPT\_Live というモードが発表されました。

Youtube で見かけたので早速試してみましたが、驚きでしたね！Claude 君も音声での対話はできるのですが、どうしても AI 感があります。

しかし、新しいチャッピー（弊社ではそう呼ばれています）はまるで中に人がいるようです。（笑）エー、とかうーん・・・とか間投詞をはさみながら、口調も変えてきます。私は下町の女性のような受け答えをリクエストしましたが、これはちょっと難しかったようです。でも、友人のようにフランクに話して、というタメ口で普通に話してきます。

英会話の稽古の相手もしてくれるようなので、これは面白いですね。ただし、まだ入り組んだ複雑な内容とか、熟考を要するような対話には深味が足りませんね。これは入力に対話したほうが良さそうです。

それから、同音異義語の判断がまだまだ甘い感じですね。おそらく、有料版の機種にするともっとすごいのだと思いますが、無料でこれだけ話ができれば十分ではないでしょうか。

対話から画像を生成したりもできるということです。まだ試していませんが、連想を画像に変えながら対話が出来たら、きっと面白いでしょうね。

これからは音声でも人間か AI か、見極める力が必要になってくるということですね。全く・・・毎回この進化には驚かされます。



教えて！

## 翻訳 Q&A



**Q: AI 関連の文脈で特別な意味を持つ英語を学びたいです。**

**A. 以前紹介した“hallucination”のように、AI の文脈だと普段とは異なる意味で用いられる英語を紹介していきます。**

- temperature** 「気温・体温」ですが、「AI 出力の創造性やランダム性を調整する機能」として AI ツールで見かけるようになりました。毎回同じような回答を生成するか、ユニークでクリエイティブな回答を生成するかを調整できます。
- alignment** 通常「整列・調整」とった意味ですが、AI が人間を攻撃したり、差別的な発言をしたりしないように制御する技術的・倫理的な調整を指す“AI alignment”という表現が昨今よく使われています。
- grounding** 電気の「接地」を指す単語です。AI が適当な回答をしないよう、回答を信頼できるデータや情報源に紐づけることも意味します。知識源に「接地」するイメージですね。
- token** 「しるし・記念品」等の意味がありますが、「AI がテキストを処理する際の最小単位」を指す言葉としても認知されています。AI の利用料金や処理制限はこのトークン数でカウントされます。
- stochastic parrot** 直訳は「確率的なオウム」です。AI は『理解』しているわけではなく、単に『次に来る確率が最も高い単語』を繋ぎ合わせているにすぎないといった意味合いで、AI の限界を指摘する際によく使われる比喻です。

日進月歩の AI 分野では、今後こうした表現はますます増えていくことでしょう。技術の進歩と共に、言葉の意味も更新されていくことがわかる例ですね。



HP にバックナンバーが掲載されています♪